

みどりの杜俳句会

山笑ふ木の間隠れの御堂かな

佐山けさ子

朝湯して前山よりの春の風

高橋 きみ

夫と買ひ娘よろこぶ内裏雛

安田 久子

雛まつり園児ら着物きて歌ふ

片雨 喜久

梅の枝一本一本伸び真白

木元ひろ子

紅梅のつぼみ固まり天気良し

鈴木 啓子

庭に出で門の白梅良き香り

深沢 七郎

子らと飾り部屋いつぱいの雛八段

松本 孚子

八高線初音消し去る列車かな

荒川句似啓

雨霽に嶺の隠れて桃の里

吉田 愛子

氏神の屋根へ福豆とび来たり

河西カナメ

紅梅の夕べの雨にうすれけり

飯野 トヨ

豆撒きの鬼にお手玉投げて追ふ

田村 好子

福豆茶近所寄り合ひ飲みけり

馬場 芳

山の家の庭に梅咲き友は留守

梅沢きくえ

園児らの踊り揃ひて雛まつり

高橋 ツネ

新しき枝にいつぱい梅白し

飯野はつ志

夕方の庭の隅より梅香る

西 ツル

花壇作り紫や黄のピオラ植ゑ

小宮 勉

三輪車漕ぐ子の背へ春の風

大竹 祐也

柵の中紅福寿草開きけり

関口 侑子

春風や庭木のつぼみ膨らめり

野口利江子

川岸に低き高きや梅ひらく

初雁 功子

かき菜御浸し茎のやはらか夕餉膳

土屋 厚子

野に山に音なき雨や雛の日

山田 美子

白石短歌会

枯草の中はほっこり福寿草

あなたに少うし命もらった

リュウグウへはやぶさ二号は

たどりつき

土産の玉手箱の中身は何ぞ

坂本 美江

来る年の年号たづねる姑久子

明治生れは百九齡迎う

白石 礼子

北海道産れの艶な芽愛し

健やかに実つてと土のぬくもりへ

渡邊阿里子



人権シリーズ

「人権教育は家庭から」

アメリカの国境の壁、EUの移民受け入れ問題、中国国内の民族浄化、北朝鮮による日本人拉致問題、また日本国内でもSNSによるいじめ・暴言、児童虐待など、最近のテレビや新聞を見てみると、事の大小を問わず「人権・差別」に関わるニュースを目にしないう日はありません。

いずれも基本的な人権に根ざす問題であります。こういう時代だからこそ未来を担う子供たちにとって、お互いを尊重し個性や違いを認め合う「人権教育」は大変重要であり不可欠なのではないでしょうか。

しかし、人権教育の全てを学校にお任せして、知識としての「人権」は習得できても、それが実践できなくては何の意味もありません。

よく『子は親の鏡』とか『子供は親の背中を見て育つ』というように、いくら学校で「人権」を教えても、一番身近な親や家族が、日常生活の中で他人への誹謗・中傷、差別的な言葉などを発しているは元も子もありません。

その観点から、まずは私たち大人世代が自分の行動・言動に偏見や差別がないか棚卸しを行い、反省するところがあれば改めることから始めてはいかがでしょうか。それが誰でも住みよい社会に繋がる第一歩だと思えます。私も含め、多くの皆さんが周囲の人に自信を持って背中を見せられるよう精進したいものです。

東秩父村民生委員・児童委員会

豊田 由夫